

## 令和3年度「自律した英語学習者育成プロジェクト事業」

## 報告書 (B高校)

1 令和3年度入学生の指導に係る全体計画 **Plan**

※ 3年間を見据えた指導計画及び生徒に身に付けさせたい力を、CAN-DOリストを踏まえて4技能の観点から記述する。

技能	1年	2年	3年
Reading	(指導計画) スラッシュリーディングを中心とした教科書・副教材の速読と精読、QA活動、語彙の増強 (力) 易しい英語で書かれた物語や記事などの要点を把握して、英語のまま理解することができる。	(指導計画) スラッシュリーディングを中心とした教科書・副教材の速読と精読、QA活動、語彙の増強 (力) 談話標識を意識しながら、文法の知識を活用し、やや複雑な構文が含まれた教科書の文を読める。図や表などからも必要な情報を得ることができる。	(指導計画) スラッシュリーディングを中心とした教科書・副教材の速読と精読、QA活動、語彙の増強 (力) 教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文書全体の構成を理解できる。自分の意見を持ち、筆者の意見と比較することができる。
Listening	(指導計画) 教科書・副教材の音声聞き取り、シャドウイング、ディクテーション (力) JTEの話す平易な英語やCDの英語を一度聞いただけで概要や要点を理解することができる。	(指導計画) 教科書・副教材の音声聞き取り、シャドウイング、ディクテーション (力) 比較的長めの、JTEやネイティブスピーカーの話す英語について、繰り返しなどの配慮をすれば概要や要点を理解することができる。	(指導計画) 教科書・副教材の音声聞き取り、シャドウイング、ディクテーション (力) やや長めで、抽象的な、JTEやネイティブスピーカーの話す英語(150～160wpm)について、概要や要点を理解することができる。
Speaking	(指導計画) 発音指導、音声変化指導、Classroom English、音読活動、QA活動、リテリング、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート (力) 5～6文の短いパッセージであれば、Visual Aidやキーワード等の助けがあれば教科書の英文をおおよそ再生できる。	(指導計画) 発音指導、音声変化指導、Classroom English、音読活動、QA活動、リテリング、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート (力) 【発表】 身近なテーマについて、自分が調べたことをもとに自分の立場や賛否を示し、自分の意見+理由とその根拠を6～7文程度でスピーチできる。 【やり取り】 ・理解できていないキーワードや表現の意味の説明を求めることができる。 ・誰かが述べたことを部分的に繰り返して、互いの理解を確認し、計画通り話が展開するのに寄与できる。	(指導計画) 発音指導、音声変化指導、Classroom English、音読活動、QA活動、リテリング、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート (力) 【発表】 キーワードのメモ等を見ながらであれば幅広い話題について自分が調べたことをもとに自分の立場や賛否を示し、自分の意見+理由とその根拠を8～9文程度で述べるすることができる。 【やり取り】 相手の反応や意見、推論に対応して、フィードバックを与え、議論の進展に寄与できる。
Writing	(指導計画) 基本例文の定着と応用練習、文法知識を生かした誤文訂正、エッセイ、ライティングテスト (力) 教科書の各パートの内容について、辞書を使いながら、5～6文程度の意見や感想を書くことができる。	(指導計画) 基本例文の定着と応用練習、文法知識を生かした誤文訂正、エッセイ、ライティングテスト (力) 社会の出来事について、文章構成を意識しながら、自分の意見や感想を7～8文程度で書くことができる。	(指導計画) 基本例文の定着と応用練習、文法知識を生かした誤文訂正、エッセイ、ライティングテスト (力) 読んだ内容について自分の意見を10文程度の要約を書くことができる。

2 試験結果を踏まえた (1) 現状分析、(2) 重点課題、(3) 重点課題の克服に向けた実践 (指導と評価の工夫) **Do**

※ (3) 実践については、各年次3月までの実践とし、民間試験受検前後の変化等がわかるように具体的に記述する。

※ パフォーマンステストの実施についても、実施内容や回数等を記述する。

技能	(1) 現状分析	(2) 重点課題
	(3) ①実践 (指導の工夫)	(3) ②実践 (評価の工夫)
Reading	(1) 平均スコア 478 A2 ・英文を読むスピードが遅い。考えながら読んでいくに加え、わからない単語が出てくると止まってしまう傾向がみられる。 ・語彙、熟語、文法の得点率が51.2%と大変低く、早急な対策を要する。	(2) ・速度を意識しながら活動を行う。 ・復習としての音読で、オーバーラッピングやシャドウイングを行い、理解を深める。 ・文構造を把握する精読の力および語彙力を高める。
	(3) ① ・教科書や副教材での読解の際に、制限時間を設定し、適切な答えを探すよう指導した。 ・授業の最初には単語の発音練習を取り入れ、何度も単語に触れさせ記憶の定着を図った。毎週のテストにも制限時間を設定し瞬時に認識できるように訓練した。	(3) ② ・毎週1度の単語テストに加え、定期考査では語彙の問題を多数出題するボキャブラリーコンテストを実施し、語彙の習得度を確認、評価した。 ・学力テストで初見の問題に取り組みせ、理解度を評価した。
Listening	(1) 平均スコア 482 A2 ・音の繋がりや脱落が聞き取れない。 ・知らない単語が多かったり、紙面だけで単語を暗記し発音できないため、聞き取った単語が認識できない。	(2) ・日常的に英語に触れる量が少ない。 ・音の繋がりや脱落などが聞き取れないことが多く、早口だと理解できない場合がある。また、文字だけで音を覚え正しい発音がわかっていない単語がある。
	(3) ① ・授業の最初に会話を聞き取る問題や、Dictation などを取り入れた。また、音読活動にオーバーラッピングやシャドウイングを毎回行うことでリスニング能力を養った。 ・ALTの先生の授業は英語のみで行い、わからなくてもJETが日本語にあえて訳さない。	(3) ② ・Debate3回を行い、相手の立論や反駁を英語で聞き取る能力を評価した。相手の意見が聞き取れないと勝敗に大きくかわる結果となった。 ・Speech コンテストを3回を行い、互いのSpeechを発表し、内容が理解できたか評価させた。
Speaking	(1) 平均スコア 433 A2 ・話す時に文の組み立てに時間がかかる。また、簡単な会話をする時に使用する表現がスムーズに出てこない。	(2) ・英語を日常的に使用する機会が少ないため、授業の最初にペアワークを行うことで英語で話す機会を増やす。
	(3) ① ・授業の最初に英検の面接過去問題にペアで取り組み、質問に対して即興で答える練習を繰り返し行った。 ・ALTとの授業でDebate、Skit、Speechの活動を行い英語で自分の意見を論理的に述べる活動を行った。Skitでは互いにクラス内で上映し優秀作品を決定し、学年で鑑賞会を行った。	(3) ② ・Skitでは、グループで作成したものをiPadで撮影し、編集したものを提出させ評価した。またScriptも提出させ評価した。 ・Speechではクラス内コンテストを行い、ルーブリックを用いて生徒が互いに評価し合った。 ・Debateでは英語力に加え、Reasoningも評価の対象とした。
Writing	(1) 平均スコア 475 B1 ・3段落構成で論理的に説明することができない。 ・単語を知っていても正しく綴ることができないため減点されてしまう。	(2) ・理由を相手に分かりやすく説明する。 ・4択問題では正答率が高いが、綴りの問題になると正答率が非常に低くなる。
	(3) ① ・3段落構成で書く練習をSpeech、Writingの授業を通して行った。 ・単語テストや考査でも単語を正しく綴る問題を出題して綴りを覚えさせる。	(3) ② ・Speech3回の原稿、Skitの原稿を提出させ評価した。 ・Writing宿題1回と授業内で辞書等を用いないでWritingテスト1回を行い、ALTに評価してもらった。

### 3 実践の検証 **Check** 及び改善案 **Act**

※ 検証については、各年次3月までの実践について、全体計画及びCAN-DOリストを踏まえながら行い、検証の結果（評価）を記述する

※ 改善案については、次年次以降の指導と評価に向けて、全体計画、CAN-DOリスト、これまでの実践、検証を踏まえて記述する。

技能	実践の検証	改善案
Reading	① 単語テストは毎週行うことができた。30点中20点未満の者は再テストを行い、定着を図った。現在2冊目の単語帳に入り、難易度も上がっている。	① テストの時は覚えていても時間がたつと忘れてしまう生徒がいた。何度も繰り返し学習することでさらに定着させたい。また、難易度も上げていきたい。
	② 初見の問題に20分で取り組みませ、最初のうちは20分では解き終われなかった生徒が多かったが、回を重ねるうちに15分で解ける生徒が増えてきた。	② さらに長く難易度の高い文章が読みこなせるように精読、速読の両方からのアプローチが必要であると考える。
Listening	① Dictation を続けるうちに音の繋がりがや脱落などが理解できるようになってきた。聞き取れない部分も前後の文から類推する力もついてきた。	① まだ短い会話にしか取り組んでいないので、今後難易度の高い内容のモノローグやニュースも教材として取り入れていきたい。
	② Debate など、聞き取れないと勝敗に関わる活動を行うことでより集中して相手の意見を聞くようになった。	② Debate や Discussion などの活動を通して相手の言っていることを即時に理解できる力を伸ばしていきたい。
Speaking	① 面接練習を繰り返すことで理由付けができるようになり、応答のパターンを習得することができた。	① 自分の意見や理由を2つの文を用いてすることができる生徒が増えてきた。（英検2級程度）さらに論理的に説明できるようにしていきたい。
	② Speech や Debate を通して、単語の選択や話す順番など、より相手に伝わりやすい方法を学ぶことができた。また、Debate では反駁やまとめの Speech で自分の言いたいことを伝えたい気持ちが高まり、話す強い動機付けが与えられた。	② ある程度筋道を立てて物事を説明できるようになっているので、より具体的に自然な英語を話せるようにしていきたい。
Writing	① 序論、本論、結論の3段落構成を学び、複数の理由付けして論を展開することができるようになった。	① Essay Writing や Speech のような文章を書く活動を今後も継続していきたい。また日本語を訳したり、条件に合う英文を作成したりする活動も取り入れていきたい。
	② 宿題にすると Google 翻訳等に頼ってしまう生徒がみられる。自分の力で英語に変換する力をつけさせたい。	② スマホやタブレットの影響のせいかすぐに翻訳機能に頼ろうとする傾向がみられるので、そういった機器を使わずに頭を使って翻訳する活動をしていきたい。